

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大2細胞/mL、シャットネラ属が最大1細胞/mL、ケラチウム属が最大5細胞/mL確認されました。また、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が最大1細胞/mL 確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスがヒロウラで0.16細胞/mL、シャットネラ属が藻津で0.01細胞/mL、栄喜奥で0.02細胞/mL、青瀬山で0.01細胞/mL、ヒロウラで0.02細胞/mL確認されました。また、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が藻津で0.02細胞/mL、青瀬山で0.01細胞/mL、ヒロウラで0.04細胞/mL確認されました。

ディノフィシス属は主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ 属	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ディノフィシス 属
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 藻津 (-/36.3m) 【09:10】	0	25.1	30.9	7.5	0	0	0	0
	★ 4	24.2	33.2	6.7	1	0	0	0
	5	24.2	33.3	6.7	1	0	0	0
	10	23.9	33.6	6.5	0	5	0	0
	15	23.8	33.6	6.1	-	-	-	-
	20	23.6	33.7	5.9	-	-	-	-
B 大島中央 (-/32.2m) 【09:17】	0	24.6	23.6	7.5	0	0	2	0
	★ 5	24.2	33.3	6.8	0	0	0	0
	10	24.0	33.6	6.9	0	0	0	0
	15	23.8	33.7	6.3	-	-	-	-
	20	23.7	33.7	6.0	-	-	-	-
C 小筑紫中央 (-/48.2m) 【09:25】	0	24.9	27.3	7.5	0	0	0	0
	5	24.1	33.5	7.0	0	0	0	0
	★ 10	23.8	33.6	6.2	0	0	0	0
	15	23.8	33.7	5.8	-	-	-	-
	20	23.7	33.7	6.1	-	-	-	-
D 栄喜奥 (-/11.8m) 【09:41】	★ 0	25.1	24.2	7.8	0	0	0	0
	5	24.3	33.2	6.9	1	2	0	0
	10	24.0	33.5	6.4	0	0	0	0
E ヒロウラ (-/24.6m) 【09:58】	0	25.3	24.3	7.5	0	0	0	0
	5	24.4	33.2	6.9	0	0	0	1
	★ 7	24.2	33.3	6.9	0	0	0	0
	10	24.0	33.5	6.9	0	0	0	0
	15	23.8	33.6	6.6	-	-	-	-
	20	23.7	33.7	6.2	-	-	-	-
F 青瀬山 (-/15.7m) 【09:46】	★ 0	25.2	23.7	7.0	0	0	0	0
	5	24.4	33.2	7.1	0	0	0	0
	10	24.0	33.4	6.8	0	0	0	0
	15	23.7	33.7	6.0	-	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

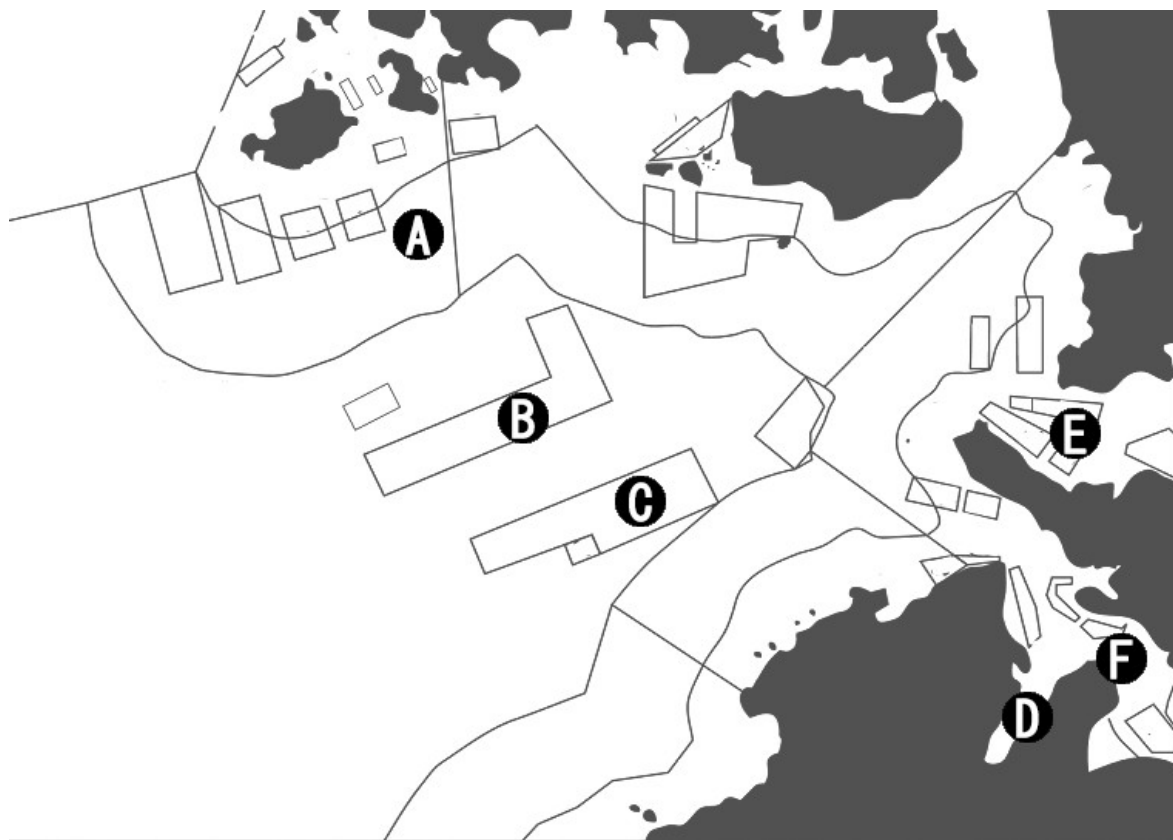
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津

B: 大島中央

C: 小筑紫中央

D: 栄喜奥

E: ヒロウラ

F: 青瀬山

シャットネラ属

最大細胞密度



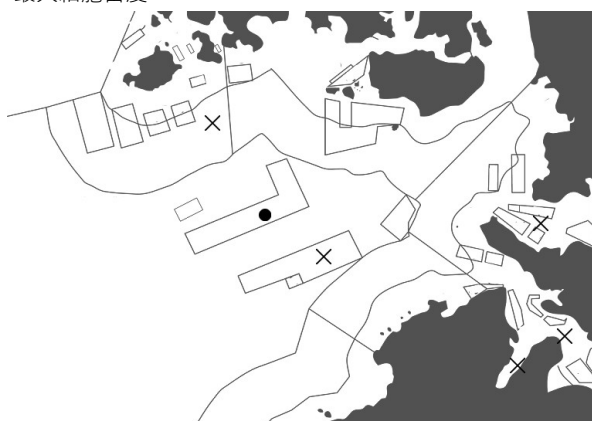
ケラチウム属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



ディノフィシス属

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

×

1~9

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

